

関わり合って育てる吉川地区の子ども

鯖江市吉川小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回(のべ)15日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	8人
授業ボランティア(含:低ボラ)	21人
登下校支援ボランティア	不明人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

具体的活動内容

吉川小学校は、隣接する地区公民館と連携して、公民館を中心に活動している諸団体と連携をとり教育活動に取り入れている。学校畑・縄ない・かかしみこし・合宿通学・赤ちゃんだっこなど各学年でいろいろな体験活動を実践している。こうした活動を通して、地域の方々と関わり、コミュニケーションを図り、地域の伝統を受け継いでいる。

特に、本年度は、第1回目となった合宿通学を例に報告する。

7月19日(火)～21日(木)に吉川公民館を中心に4年生88名全員が参加して行った。3月から計画し、区長会・老人クラブ・体育協会・PTA・青少年育成協議会・愛育会・女性協力委員・スポーツ少年団・公民館協力委員等で実行委員会を立ち上げて、全体会と各団体の会議を重ねて準備をしていただいた。

昨年度までは5年生で宿泊学習を体験していたが、4年生で初めて家を離れて団体生活を送ることになった。しかも、公民館は宿泊施設ではないということで、不自由さを我慢しなければならないこともあり、3月の東日本大震災を受けて、「防災」をコンセプトとして企画が進められた。

1日目は老人クラブの方と各班ごとの旗作り、マイうちわ作り、体育協会の方の手作りシャワーで汗を流し、体育館で段ボールを使って就寝。2日目は、民生委員の方と登校し、午後から消防署員により各種防災体験をした。夜は、天体望遠鏡で星空観察をし、銭湯で汗を流した。3日目は、5時に起床し、校区の西部にある三床山(279m)に区長会や青年団の方々と登山をして、公民館に帰って昼食をとって解散した。



成果と課題

3日間で約300人のボランティアの方々に協力いただいたおかげで、大きな事故やけがもなく無事に終了した。事後のアンケートでも全員が「楽しかった」と答え、「被災地の人たちの気持ちがわかった」「山登りをして、植物のことがわかった」「みんなと力を合わせてやることができた」などの感想が書かれており、当初の目的が達成された。

課題としては、地区の関係団体には理解と協力を求めて、たくさんの方に関わっていただいたが、保護者の中には、防災というコンセプトで公民館での宿泊という初めての体験に戸惑いを感じておられる方もいたので、もう少し時間をかけて共通理解をしていく必要があった。4年生の体験を間近に見て、3年生はすでに心待ちにしているというので、今後、新役員の方々と協議をしてよりよい事業にしていきたい。

